

# 逗子民報

発行 日本共産党三浦半島地区委員会  
2002年4月26日 第399号

逗子事務所 市政・生活相談所  
逗子市沼間2-15-4 TEL71-1321 FAX73-4798



市議会議員  
岩室 年治



市議会議員  
はしづめ 明子

## 第一回臨時会 日本共産党が提案 総合病院の特別委員会設置

改選後の初議会は、四月十五日から十七日の三日間行われ、議長に鈴木安之議員（新世紀）、副議長に松本治子（会派二十一世紀）を選出。監査委員に平井竜一（次世代）を選出。各議員の所属する常任委員会などを割り振り、その委員会の役職人事を決めました。また、日本共産党が提案して各会派も合意した結果、「総合的病院に関する特別委員会」が設置されました。

八日、新議会の初顔合わせとなる議員事務打ち合わせ会が行われ、九日から十一日まで臨時会にむけての協議が断続的に行われました。逗子市議会は会派制をとっていることから、まず初めに「会派届」が提出され、年長議員の奈須議員が座長となつて、団会長会議も開かれ、各会派の控室が割り

振られ、議長選挙の調整などが行われました。日本共産党も岩室年治議員と新人の橋爪明子議員の両名で会派届けを提出。四年ぶりに交渉権を得て、交渉会派となり、正式に団会長会議のメンバーに加わりました。また、日本共産党議員団の控室もできました。

### 臨時会にむけて 日本共産党が申し入れ

日本共産党は、団会長会議と各会派に対して、次の三点を提案する申し入れを行いました。  
第一は、特別委員会設置について、常設されている基地対策特別委員会に加え、新しく「総合病院誘致に関する特別委員会」と「ごみ処理広域化に関する特別委員会」の設置。  
第二は、改選前から取り

組んでいる議会改革をすすめる「議会改革協議会」を名称も変更し、「議会活性化推進委員会」として発足させ、積極的に取り組むこと。  
第三に議長選挙については立候補制を検討すること。これらの事項はその後の団会長会議と議会運営委員会などで協議されました。

### 新しい議会の 会派構成表

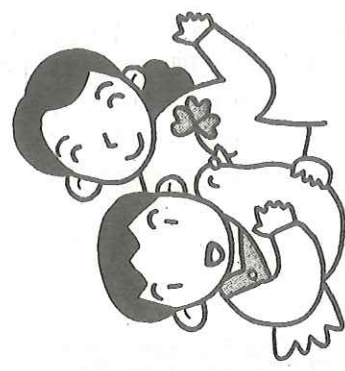
会派名	氏名	代表	名	議職
日本共産党	●岩室 年治 ●橋爪 明子	●岩室 年治 ●橋爪 明子	●岩室 年治 ●橋爪 明子	●年治 ●明子
次世代 フォーラム	●近藤 大輔 ●平井 竜一 ●森 典子 ●菊地 俊一 ●松本 真知子	●近藤 大輔 ●平井 竜一 ●森 典子 ●菊地 俊一 ●松本 真知子	●大輔 ●竜一 ●典子 ●俊一 ●真知子	●大輔 ●竜一 ●典子 ●俊一 ●真知子
政風会	●岡本 勇 ●須田 隆 ●武藤 吉明	●岡本 勇 ●須田 隆 ●武藤 吉明	●岡本 勇 ●須田 隆 ●武藤 吉明	●勇 ●隆 ●吉明
新世紀	●真下 政次 ●網倉 大介 ●鈴木 安之	●真下 政次 ●網倉 大介 ●鈴木 安之	●政次 ●大介 ●安之	●政次 ●大介 ●安之
会派21世紀	●塔本 正子 ●松本 治子	●塔本 正子 ●松本 治子	●正子 ●治子	●正子 ●治子
公明党	●池田 一音 ●高野 典子	●池田 一音 ●高野 典子	●一音 ●典子	●一音 ●典子
若い市長と 改革の会	●毛呂 武史 ●高野 毅	●毛呂 武史 ●高野 毅	●武史 ●毅	●武史 ●毅
社民党	●関口 正男	●関口 正男	●正男	●正男
無党派	●奈須 和男	●奈須 和男	●和男	●和男
無党派	●草柳 博	●草柳 博	●博	●博

新議会の構成	新定数	新人	女性	平均年齢	*当選回数	見方	8期	7期	6期	5期	4期	3期	2期	新人
22人	7人	3人	2人	49.5歳	4.5	早見表	池田 一音	武藤 吉明	奈須 和男	なし	岩室 年治 鈴木 勇 岡本 本 松本 治子	真下 政次 網倉 大介 塔本 正子 須田 隆	近藤 大輔 平井 竜一 森 典子 関口 正男	橋爪 明子 菊地 俊一 松本 真知子 高野 武史 毛呂 毅 高野 柳

### 次世代が最大会派に 市長与党会派の誕生

会派の構成では、交渉会派に「日本共産党」が加わり、「次世代フォーラム」が三人から五人が増えて最大会派になりました。保守（自民）系会派の「政風会」と「新世紀」はそれぞれ一名減らして三人会派になりました。保守系の「改革

ずし」が無くなり、市長の与党を断言している二人が「若い市長と改革の会」を結成。わずかながら議会内に変化が生まれました。但し、改選後の議会の会派構成は、その後の市政の政策議論が進む中で分裂する場合もあつて、この会派



構成がそのままの状態では四年間あるとは限りません。

日本共産党議員団 ●所属委員会等

岩室年治議員 ●教育民生常任委員会  
●総合的病院に関する特別委員会  
●議会報編集委員会

橋爪明子議員 ●建設環境常任委員会  
●基地対策特別委員会  
●議会運営委員会  
●都市計画審議会

# 正・副議長選挙は 指名推薦で選出

九日から十一日までの三日間で、議長候補の調整が行われた結果、鈴木安之議員（新世紀）一人に候補者が絞られました。

その後、臨時会は十五日に召集され、その冒頭の本会議で鈴木議員が指名推薦で選出されました。

また、副議長選挙も同様に松本治子議員（会派二十一世紀）が指名推薦で選出されました。

過去、正副議長選挙は投票による選挙が行われてきましたが、各会派との協議、合意が得られたことによるものです。そのため立候補制による所信表明は実施されませんでした。

議会推薦の監査委員には平井竜一議員（次世代）が各派の同意も得られ、市長からの提案で選任されました。

# 議会の役職は 民主的に配分を

議会は会派制をとっている理由は、合理的に運営するためですが、その弊害として多数会派などが役職を独占したり、一部の会派が運営や役職人事を強引にすすめる場合が生まれます。

日本共産党が議会の役職選出にあたり、各会派との調整で求めた内容は、各議員と各会派に役職が民主的に割り振られ、各議員が役

職を経験し、それぞれの議員が市民の期待に応えて責任をはたすことができるようにすることでした。

今回の臨時会は、正副議長が指名推薦であったこともあり、運営は全体に円満な形でスタートを切ることができました。次は市長との間で、積極的な議論ができる議会に変えていくことです。

# 病院の報告を拒む市長 説明を求める議会

臨時会では、各会派から総合病院問題について「市

長からの説明を求めるべきだ」との意見が相次ぎ、団

体は、当初は臨時会では総合病院問題については、説明する考えはなく、議会側からの要請にも、市長は「市長報告」とは議会の要請で行うものでなく、市長の判断で行うものとして拒みました。

しかし、議会内の市長与党である「若い市長と改革の会」も合せて、議会側からの強い要請もあつて、臨時会の全員協議会における「市長報告」の中で総合病院に関する説明を行いました。

第一は過日、退子市の「総合的病院に関する基本的な考え方」が議員に配布されたが、新人議員も含めて議員全員の共通の理解を図るため、現状を正確に報告されたい。

第二は、各会派ごとの説明では、共通の理解が図れない、臨時会の全員協議会で市長報告をされたい。

市長は、当初は臨時会では総合病院問題については、説明する考えはなく、議会側からの要請にも、市長は「市長報告」とは議会の要請で行うものでなく、市長の判断で行うものとして拒みました。

しかし、議会内の市長与党である「若い市長と改革の会」も合せて、議会側からの強い要請もあつて、臨時会の全員協議会における「市長報告」の中で総合病院に関する説明を行いました。

会派名	常任委員会				特別委員会		議員が就任する議会外の役職	
	総務(8)	建設(7)	教民(7)	育生(7)	基地策対(11)	総合的病院(11)	農委員会(1)	審議会 都市計画(5) 総合計画(5)
日本共産党	—	岩室	橋爪	橋爪	〇岩室	橋爪	—	—
次世代フォーラム	菊地 〇近藤	森 〇松本	平井	平井	菊地 平井 近藤	〇菊地 平井 松本	森	菊地
政風会	岡本	武藤	〇須田	〇須田	武藤	岡本	—	武藤
新世紀	網倉	鈴木	真下	真下	〇網倉 真下	真下	—	鈴木 真下
会派21世紀	—	〇塔本	松本	松本	塔本	塔本	—	—
公明党	池田	—	〇高野	〇高野	高野	高野	—	池田
改革の会	毛呂	高野	—	高野	毛呂	〇高野	—	—
(社民党) 無党派 無党派	関口 〇草柳	—	奈須	奈須	関口 〇奈須	—	—	—

# 総合的病院に関する 特別委員会設置

臨時会の議会運営委員会では、議長から「日本共産党から提案もあり、総合病院に関する特別委員会設置についての協議をされた」との諮問が行われました。

冒頭に岩室議員から「市政の重要な課題である総合病院誘致は、福祉部と企画部（池子）に所管が股がり、特別委員会が必要」と説明し、賛同を求めました。

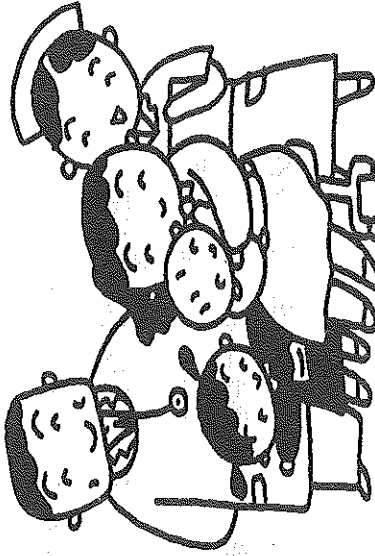
しかし、政風会と公明党からの同意が得られず、継続協議となつて、臨時会の市長報告後に再度協議することになりました。

翌日の「市長報告」後の議会運営委員会では、全会派からの賛同が得られ、正式名称は「総合的病院に関する特別委員会」（構成十一人）となつて議会に設置されました。

その特別委員会の正副委員長互選後、そのまま閉会するところでしたが、橋爪明子議員が発言を求め「市

長報告だけは十分でなく、今回設置されたこの特別委員会を早急に開催し、市長の考えや方針をたずねてほしい」と提案しました。

その後、他の委員からも同様な意見が出された結果、委員長が時期をみて開催する考えを示しました。



# 議会改革の委員会 早急に設置を

日本共産党は、議会改革を継続して取り組むことを求めています。今回の臨時会では議会の民主的改革や活性化をすすめる委員会の

設置について、議長から諮問もなく、設置はできませんでしたが引き続きその設置を求めていきたいと考えています。